

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・古澤孝市・徳中嗣史・金濱元一・岡田健一・早川昇三・南川達彦・黒光ひさ・鈴木和彦
調査実施年月日	平成29年1月24日
調査先 自治体名等	東京都港区
調査項目	鉄道歴史展示室及び SL 広場の調査について
調査目的	旧新橋停車場の鉄道歴史展示品と新橋駅 SL 広場の SL の展示状況について
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：249,222人 128,261世帯（平成28年12月1日現在） 高齢化率：17.60% 市民平均年齢：42.69歳（平成28年10月1日現在） 行政面積：20.37km²</p> <p>2 視察内容 (1) 旧新橋停車場 鉄道歴史展示室 旧新橋停車場の建物は、明治5年に開業した日本最初の鉄道ターミナル新橋停車場の駅舎の概観を当時と同じ位置にできるだけ忠実に再現した建物です。 建設にあたっては、当時の駅舎の基礎石や石積みのプラットホームなどが良好な状態で発掘されたため、それらを現地に埋め戻しその直上に建設されており、一階部分には埋め戻された駅舎基礎石、プラットホームの一部が見学できる窓が設置されています。 2階展示室には、日本の鉄道発祥の地であり、明治期の日本近代化の窓口となった汐留の歴史、鉄道にまつわる様々な事柄をパネル、展示品、ビデオなどで紹介されています。また、日本の近代化をけん引してきた蒸気機関車のあゆみや動く仕組み、運転、修繕、現在活躍中のSLの紹介など、様々な視点から展示されています。</p> (2) 新橋駅 SL 広場(SL 展示場) 新橋駅に展示されている蒸気機関車C11形292号は、昭和20年2月11日に誕生し、山陽本線を中心に走りまわり、走行距離は108万3,975kmと記録されています。新橋駅前に設置されたのは、日本の鉄道開業(明治5年)からちょうど100年となる昭和47年10月に100周年の記念として設置されました。 SL設置当時は、広場の中央に噴水がありましたが、広場の地下に雨水を溜める貯水槽を備える工事に合わせて、SLの基礎部分に敷設ブロックを新橋駅のデザイン同様にアーチ状に積み上げ3日間雨が降らないとその水を敷設ブロックに供給し「打ち水」効果で地面の照り返しによる気温の上昇を防止するハイテク広場となっています。さらに段差を無くし利用する人にとって優しい広場となっています。また、毎日3回(12:00、15:00、18:00)数秒間汽笛が鳴るようになっており、近年では、クリスマスの時期になると、SLがイルミネーションで輝くようにも工夫されています。

	<p>SL本体については、周りが柵で囲まれ人が入れなくなっており、室蘭市のようなSLを覆う屋根などはありません。また、SLのピストンロッドなど作動部は金属が露出しており腐食の心配がありますが、新橋のSLでは銀色の塗装をしているので腐食している状況は見られませんでした。</p>
<p>感想（まとめ） 本市へ生かせること 等</p>	<p>旧新橋停車場 鉄道歴史展示室は、旧新橋停車場を忠実に復元したすばらしい建物でした。展示品については、ガラスのケース内に展示されているので展示品の清掃・手入れが必要なく展示品が傷まないと思いました。</p> <p>室蘭市にも多くの鉄道遺産があるので今後の展示等で参考にしていきたいと思います。また、ビデオによる鉄道歴史等の紹介や蒸気機関車の動く仕組みのパネルなどについても今後参考にしていきたいと思います。</p> <p>SLの展示については、敷設ブロックによるハイテク技術が導入されておりましたが、SLの周りに柵をしていることが参考になりました。SLに触れたり乗ることも子どもにとっては興味がありますが、安全面では新橋のような取組みも大切と感じました。今後の室蘭市での移設の際に参考にしたいと思います。</p> <p>また、新橋のSLは金属の摺動部(金属の露出部)にもペンキが塗られているので腐食が見られませんでした。室蘭市では定期的に腐食手入れを行っていますが、移設後の点検整備等で参考にしていきたいと感じました。</p>